

講演で、企業や市民団体の連携を訴える枝広さん



# 企業や市民団体は連携を

ゴア元米副大統領の著書「不都合な真実」の翻訳者として知られる環境ジャーナリスト枝広淳子さん(48)による講演会とワークショップ「幸せな未来のつくりかた―企業と市民団体・NPOにできること」が17日、札幌市環境プラザで開かれ、業種や団体の壁を越えて、連携する必要性を訴えた。  
(中村征太郎)

## 環境ジャーナリスト 枝広さん講演

同プラザが主催し、市民や市内の企業の環境部門担当者ら約40人が出席した。枝広さんは講演で、自活するための農業と自分がやりたいことを組み合わせたライフスタイル「半農半X(エックス)」に触れ、「年収が下がっても自分の生活を大事にしたいと考える人が増えていく」と指摘した。その上で「経済成長はずっと続くものではない。経済と環境の両立を図るためにも、企業や市民団体が自分の

論理だけではなく、協分かれて意見交換し排出量の削減目標で、力し合うべきだ」と訴えた。参加者からは「ごみ分別が、自治体ごとのバラバラ。統一する」などの意見が出された。5人程度のグループに「二酸化炭素」などの意見が出された。排出量の削減目標で、先進国と発展途上国の間にある溝を埋めよ